

9月ほけんだより

さつき認定保育園
令和5年8月31日
看護師 嘉手苺



8月30日から9月5日は防災週間 9月1日は防災の日です

近年、世界中で自然災害による被害が深刻化しているなか、沖縄でも8月にきた大型台風が甚大な被害をもたらし、自然の力の怖さを改めて考えるきっかけになったと思います。防災用品の点検や備蓄品の期限切れの確認をしたり、家族で災害や安全対策について話したり「もしも」に備えましょう。

- ハザードマップ(防災地図)を確認してみましょう。
「ハザードマップ ○○市」で検索し自宅が被害予想地域になっていないか、もしもの時の避難場所などを確認してみましょう。
- 避難情報が発令された場合、「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難、乳幼児がいる家庭は「警戒レベル3」で危険な場所からの避難を開始します。
- 避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は避難する必要はありません。



警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5 (最も危険な状況です)	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保 (市町村が発令) ※市町村が災害の状況や被害に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
<警戒レベル4までに必ず避難！>		
警戒レベル4 (危険な場所から全員避難)	災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。	避難指示 (市町村が発令) ※避難指示は、令和3年の改正法改正以前の避難勧告のタイミングで発令されます。
警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)



安全な場所とは

- ① 洪水で家が倒れたり崩れる区域に入っていない。
- ② 浸水する深さより高いところに部屋がある。
- ③ 水が引くまで我慢でき水・食糧などの備えが十分にある。



9月9日は救急の日

こどもの急な病気に困ったら
#8000 または
☎098-888-5230
【相談時間】平日 19時～翌朝8時
土日祝日・年末年始 24時間対応

「子ども救急ハンドブック」📖



【家の中の事故を防ぎましょう】

0歳～6歳の子供の事故の約40%は家の中で起こっています。家の中を安全・安心な場所にするために、いま一度チェックしてください。

- ・4cm未満の物は子供の口に入るサイズなので、手の届かないところに保管しましょう。
- ・入浴中にちょっと目を離したすきに溺れる、残り湯に落ちるなどの事故の危険があります。
- ・炊飯器や電気ポット、ウォーターサーバーなどによる火傷が多いです。
- ・バルコニーで台などに上って手すりを超える事故が、3歳以降急増します。
- ・ソファやベビーベッドから落ちたりする事故がよくあります。

